



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月8日

上場会社名 日本ルツボ株式会社
 コード番号 5355 URL <http://www.rutsubo.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 大久保 正志
 (氏名) 広野 玲緒奈

TEL 03-3443-5551

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	6,545	14.4	386	58.7	400	49.8	254	27.4
29年3月期第3四半期	5,723	△1.7	243	43.2	267	50.3	199	63.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 380百万円 (84.9%) 29年3月期第3四半期 206百万円 (179.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	18.78	—
29年3月期第3四半期	14.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
30年3月期第3四半期	10,749	—	4,239	—	39.4	313.55
29年3月期	9,772	—	3,940	—	40.3	291.43

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 4,239百万円 29年3月期 3,940百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,930	14.2	510	35.2	530	30.4	340	17.2	25.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) 眞保炉材工業株式会社 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	14,090,400 株	29年3月期	14,090,400 株
30年3月期3Q	572,673 株	29年3月期	572,022 株
30年3月期3Q	13,518,117 株	29年3月期3Q	13,518,715 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な内外需を背景とした輸出増加および生産活動拡大に伴い、企業収益および業況判断が改善し、緩やかな回復基調が続きました。先行きに関しては、米国の経済政策運営や北朝鮮の地政学的リスクなどの影響の懸念もありますが、景気は引き続き緩やかに回復すると見込まれております。

当社グループを取り巻く関連業界におきましては、主要取引先である自動車関連産業は、第3四半期、国内自動車販売台数は前年比若干減少しましたが、国内生産台数の前年比増加は継続しております。

鉄鋼産業は、中国の粗鋼生産がなおも高水準ではあるものの、国内粗鋼生産量が前年比でほぼ横ばいまで回復しており、上向きの基調で推移しております。

このような状況の中、当社グループは営業と技術が一体となり、主力製品や新製品の拡販活動を積極的に推進してまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は65億4千5百万円と前年同四半期比14.4%増加いたしました。利益面では、営業利益は3億8千6百万円（前年同四半期比58.7%増）、経常利益は4億円（前年同四半期比49.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億5千4百万円（前年同四半期比27.4%増）となりました。

①事業の分野別業績

鑄造市場向けは、国内自動車生産台数が前年比増加となるなか、売上高は30億6千3百万円（売上高比率46.7%）と前年同四半期比6.2%増加いたしました。

鉄鋼市場向けは、高炉工事の受注増等により、売上高は10億1千9百万円（売上高比率15.6%）と前年同四半期比1.4%増加いたしました。

溶解炉・環境市場向けは、連結子会社化した眞保炉材工業株式会社の売上も寄与し、売上高は17億2千8百万円（売上高比率26.4%）と前年同四半期比49.0%増加いたしました。

海外市場向けは、北米向け出荷の増加等により、売上高は4億3千6百万円（売上高比率6.7%）と前年同四半期比2.2%増加いたしました。

不動産事業は、3月に完成した大阪倉庫の売上が寄与し、売上高は3億円（売上高比率4.6%）と前年同四半期比20.6%増加いたしました。

②事業の種類別セグメントの業績

セグメント別の売上高は、耐火物等事業が44億円（売上高比率67.2%）と前年同四半期比4.4%増加し、営業利益は4億6千7百万円と前年同四半期比69.1%増加いたしました。溶解炉・環境関連市場向けのエンジニアリング事業は18億4千5百万円（売上高比率28.2%）と前年同四半期比46.5%増加したものの、営業利益は1億4千6百万円と前年同四半期比2.8%減少いたしました。不動産事業は3億円（売上高比率4.6%）と前年同四半期比20.6%増加し、営業利益は1億6千2百万円と前年同四半期比18.6%増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末比4億1千2百万円（7.1%）増加し、62億2千9百万円となりました。主として、受取手形及び売掛金の増加によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末比5億6千5百万円（14.3%）増加し、45億2千1百万円となりました。主として、眞保炉材工業株式会社の子会社化に伴うのれんの発生によるものです。

これにより、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比9億7千7百万円（10.0%）増加し、107億4千9百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末比3億9千6百万円（11.7%）増加し、37億8千9百万円となりました。主として、買掛金及び短期借入金の増加によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末比2億8千2百万円（11.6%）増加し、27億2千2百万円となりました。主として、眞保炉材工業株式会社の子会社化等に伴う長期借入金の増加によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比2億9千9百万円（7.6%）増加し、42億3千9百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は39.4%（前連結会計年度末は40.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）につきましては、平成29年5月11日に公表した通期連結業績予想から修正を行っております。連結業績につきましては、積極的な営業活動及び経費削減により、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益がいずれも予想を上回る見込みであります。

[通期連結業績予想]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	8,700	450	440	300	22.19
今回修正予想 (B)	8,930	510	530	340	25.15
増減額 (B - A)	230	60	90	40	
増減率 (%)	2.6	13.3	20.5	13.3	
前期実績	7,823	377	406	290	21.46

平成30年3月期の通期個別業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）につきましても、平成29年5月11日に公表した通期個別業績予想から修正を行っております。個別業績の修正理由は連結業績と同様であります。

[通期個別業績予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	7,800	320	330	240	17.75
今回修正予想 (B)	8,004	394	424	300	22.19
増減額 (B - A)	204	74	94	60	
増減率 (%)	2.6	23.1	28.5	25.0	
前期実績	7,690	309	327	238	17.59

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。